



# 議会だより

No.90

2010

7.17発行

# このえ

## 6月定例会

- 22年度補正予算算定
- 請願・陳情・要報
- 一般委員質問 6人
- わたしのひとこと

P.2

P.3

P.4

P.5~P.8

P.9

野上中央五  
原田のり子

順子さん  
朝子さん

佐  
岩

満開に咲き誇る扇ヶ原のミヤマキリシマと登山客（6月17日）

# 統合中学校

## 第2回定例会

第2回定例会は6月8日から16日までの9日間開催され、報告2件と議案8件、請願2件、陳情6件、要望1件、発議3件を慎重に審議しました。

“校地”

ほぼ決まる

## 町内の女子中学生対象に 子宮頸がんワクチンを無料で接種

### 一般会計補正予算

一般会計は歳入歳出にそれぞれ  
1593万4千円を追加し、総額で  
61億8593万4千円となりました。

#### ★補正予算の主なもの

◎子宮頸がん予防ワクチン接種

中学生女子 147名

735万円

◎筑後川フェスティバル補助金

230万円



# みなさん方の請願、陳情、要望はこうなりました。



## 請願

●大分県教職員組合玖珠支部執行委員長 平原一幸氏他11名からの、義務教育費国庫負担制度の堅持および教育予算の拡充を求める意見書提出に関する請願は、

子どもの教育の機会均等と教育水準の維持向上は憲法の保障するところで、義務教育費は国が責任を持つて堅持すべきで、請願の趣旨は理解できることから採択することに決定しました。

●大分県豊後牛生産者組織連絡協議会 会長清田満作氏からの、肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業及び肉用牛肥育経営安定特別対策事業の見直しと、口蹄疫に対する防疫、経営支援事業の独自対策に係

## 陳情

る支援経費の特別交付税措置での対応を求める意見書提出に関する請願は、宮崎県で4月に発生した口蹄疫は、大分県でも家畜市場の延期など畜産農家は打撃を受けている。県内においても消毒等の防疫対策はしているが、地域経済にも影響を与えており、様々な支援策は必要で、請願の趣旨は理解できることから採択することに決定しました。

●南恵良区長 梅木教義氏他20名からの、道路拡幅並びにカーブの緩和を求める陳情は、

東飯田中学グラウンド前約70m区間の道路で松木方面からはカーブ等で見通しも悪く、陳情の趣旨は理解できることから採択することで決定しました。



口蹄疫対策に消毒等実施



拡幅が望まれる東中グラウンド前カーブ

●北方上区長 甲斐睦章氏他2名からの、町道釜ノ口須久保線道路改良に関する陳情は、道幅も狭くカーブも多いため、改良すれば交通安全対策にも繋がることから、関係地の用地提供を条件に採択することに決定しました。



カーブ等で見通しの悪い釜ノ口須久保線

●中央五区長 梅木哲郎氏からの、町道編入と道路の舗装並びに側溝の整備を求める陳情は、中央四と中央五の間を通る里道で、中央五の集会所までの間を町道に編入を求めるもので、過去にも陳情が出された経緯があるが、その際は地元協議が不十分で不採択となったが、今回は関係者の同意も得ていることや、集会所先の河川まで改良ができれば、火災時の利水としても利用できることから採択することに決定しました。



中央五

●九重町建設業協会 会長永吉陽一氏からの、公共事業予算の確保と早期発注を求める事に関する陳情は、公共事業の削減に伴い、各社とも体制の見直しや異業種参入などの自助努力はしているが、依然として厳しい状況で理解できるところから採択することで意見の一致をみました。

●玖珠九重農業協同組合 代表理事組合長 衛藤俊弘氏他1名からの、梨の晩霜令被害に関する陳情は、気象に伴う低温、多雨、晩霜などの影響により、多くの園で着果障害などの被害が出ており、最大限の支援が必要で、陳情は理解できるところから採択することで決定しました。

## 要望

●大分県保険医協会会長 松山家久氏他1名からの、「保険でより良い歯科医療」の実現を求める国への意見書提出の陳情は、診療報酬改定で、今まで診療報酬として認められていた歯周病の治療などが健康保険で行えなくなり、また義歯の作成・調整も報酬が低く抑えられ、治療・管理が充分できるとは理解できることから採択することに決定しました。

●JA玖珠九重肉用牛部 会部会長 宿利英治氏他4名からの、口蹄疫による市場延期に対する要望は、九州各地の家畜市場が中止及び延期となり、子牛の出荷販売ができない状態が続いていることから、生産者の経営悪化が危惧されている。出荷予定子牛を保留した場合に優良雌牛保留事業と同額を助成することについては、今後も市場開催の見直しはなく、要望の趣旨は理解できることから採択することに決定しました。

# 常任委員会報告

## ふれあい生活課

**Q** 国民健康保険は、市町村別ではなく、県で一本化すべきでは。

**A** 現在、その問題は幹事会運営委員会で協議している。ただ、これまでの市町村で条件が違っており、もう少し協議の推移を見届けたい。

**A** 一つは、サービス施設が多いため、利用が増えている事と、もう一つは、要介護度が悪化している事が、原因と考えられる。

**Q** 元気な老人が増えれば、介護支援も減少し、健康な町になるのでは。

**A** いきいき夢サロン事業を、昨年より始めたが、今年度は9ヶ所増して30ヶ所を目標に計画している。このサロン事業は、ご老人の活々とした生活を支援するためのもので、参加者の意見を取り入れながら推進していく。

**Q** 登山者が、年々増えているが、路上駐車も多々見受けられる。対策は。

## 商工観光課

**A** 駐車場が渋滞する場台が多く、県に要望している。本年は、牧ノ戸峠の3ヶ所で、民地への臨時駐車場を開設し対応した。また、長者原よりシヤトルバスを運行しており、周知徹底したい。



## 学校給食センター

**Q** 給食費未納額が減っていない。子ども手当も支給されている中で、担当課の対応は。

**A** 子ども手当は、法律上事前に差し引く事は出来ないが、対応した保護者もいたので、今後も引き続き努力していく。



今後もこだわりの給食に心がけたい

## 建設課

**Q** 町道梅木津留下畑線改良舗装工事について、執行部に現地を実際に見て懸念するところ等について伺いたい。

**A** 町長、副町長、総務課長、企画課長、建設課で調査した結果、昔からの主要道路や現在利用している道の橋が落ちた時や災害時に孤立すること、等を考えると改良することとは理解できると判断した。幅員も4m以上で改良したい。

**Q** 現地調査で今回の改良区間等を見たが、車も通った形跡もないが、通れるような道でもない。しかも、道の中央に水路が8年前頃設置され、道としての機能が見受けられない。事前説明もない等、執行部責任を果たしていない。信頼関係がなくなった。

**A** 現段階では特防交付

金整備事業で実施をした。22年度は約200mを計画している。三叉路までを今後改良し、地元もできる範囲のことを行いたいと言っている。

**Q** 今後、2期3期と計画的に実施するということではないと理解して良いか。

**A** 今は通れない状況なので、地元が整備をして通れるようになった時、協議したい。水路については、10年前頃に改修、

関係者は3人です。総予算は、1億1千万円程と思う。

**Q** 特防交付金整備事業があつた対象になるのか。補助対象の条件等があるのではないか。投資効果も含め、優先順位があるのではないか。

**A** 補助対象メニューは企画調整課が担当で、建設課で金額等を割りふられて実施している。



日常的にはほとんど利用されてない梅木津留下畑線

6名が一般質問

ここが聞きたい!

# ズバリ 町政 を問う

## 一般質問の録画放送

平成22年6月11日(金)に開

催されました6月定例会の一般質問について、このえケーブルテレビで録画放送されました。今後もケーブルテレビ等でお知らせしますので、多くの方が視聴されますようお願いいたします。又、傍聴される方は、議場にお気軽にお越し下さい。



### どう進めるか日本一の田舎づくり

### お金で買えないものを発見したい



坂本憲治

**坂本** 日本一の田舎づくりを提唱して2年が経過した。

多くの町民に名前だけは浸透したと思われる。

今後は若い人が安心して地元に残れる町をつくるためにも具体的な取り組みが必要と考えるが。

**町長** 日本一の田舎づくりの方向性は、町民が自主・自立・協働を礎にした自分の町に誇りを持つ町づくりであり、町にある良い物を発見しながら、お金では買えない日本人の原点に帰る、そんな田舎づくり町づくりを進めたい。

### 課長の考えを伺いたい

課内で協議し計画的に推進していく

**坂本** 田舎づくりを進めるに当たり、企画、社会教育、商工観光、農林の各課の具体的な取り組みについて伺いたい。

**企画調整課** ソフト事業を主体に、地域の魅力や、

地域の課題を発見、把握しながら、事業の検討を進める。

**社会教育課** 図書館に田舎づくり文庫を用意。若者世代の方のシンポジウムの開催、地域づくり協議会の設立等、地域づくりの実現を目指す。

**商工観光課** 観光協会と共に、農商工連携により観光客の接客、地元農産物を中心に、魅力ある食おもてなし、町並みづくりを重点目標として、観光振興を図って行く。

**農林業** 持続可能な農業の確立。農地、担い手を確保支援しながら、環境保全型の農業を基本として、課内で充分協議しながら事業を計画的に推進して行く。



町の玄関口となるか、豊後中村活性化交流センター

江藤 一幸



## 子宮頸がんワクチン接種

### 全額中学生に公費負担

**江藤** 補正で中学生に対して予算化したが、高校生も支援の対象にするべきでは。報道では、病院へ各自が行っての接種だが、学校での集団接種の

方が効果が出る。小児へのヒブワクチン接種も支援を。

また、大田原市では、学校での集団接種やヒブ支援を行っている。調査し内部で十分協議するべきでは。

**町長** 子宮頸がんワクチン接種は、今年度から実施計画する。ヒブワクチン接種も今後検討する。

また、病院での任意接種を考えている。頸がんワクチンは、10

代前半接種が望ましいと記されている。高校生については、検討しなければわからない。

また、大田原市に問い合わせ、どうい議論で集団接種が出来たか、勉強したい。



総工費約1億円の梅木津留下畑線町道改良現場

## 町道改良 査定不十分

### 丁寧の説明する

**江藤** 内部で、査定が十分にされているのか、梅木津留下畑線の改良計画が3月議会で議決したが、巡視で現場を見て驚いた。写真も見せないし、聞か

**町長** 内部協議は、企画調整課の事業調整、総務課の査定、町長査定等々での協議を行って事業決定している。

なければ言わないなど、担当課に丁寧な説明を求める。また、これを教訓に、予算審査特別委員会が必要と感じるが。

説明不足ということであれば、担当課は詳しく説明すべきと思う。他の課長も聞いているので、今後は丁寧に説明していく。

日野 康志



## 地域づくりの推進を

### 地区協議会を柱に

**日野** 地域づくりは、区長の役割も含め、地区協議会が主体的に推進するべきでは。

**町長** 地区協議会は、区長も参加しており、町づくりに関心ある住民と、協議する事が大切であると考える。また、自助、

共助、公助の基本に沿った地域づくりを目指すためにも、地区協議会のあり方と、区長制度も含めて検討の必要性があると考ええる。

## 町づくり提言書を どう活かすか

### 地域の目的に沿った内容で

**日野** 自然エネルギーも含め、提言書の副題「自給率100%の町、九重」を、どう活かすのか。

**町長** 町づくり会議の提言書は、日本一の田舎づくりの原点として、過疎計画に繁栄していく。また、地区協議会が中心と

なり、地域の目的に沿った内容になる様、協議していく。

## 緑の分権改革推進 事業を我町でも

### 今後の動向を 踏まえて

**日野** 総務省の、緑の分権改革は、町の考え方と同じ方向性を持ち合わせている。推進するべきでは。

**町長** 田舎づくりと合致しているが、委託調査の段階で、調査内容や交付金、補助金など、具現化しておらず、今後の動向を踏まえて対応したい。



自然エネルギーとして期待される 滝上の地熱発電

## 農協裁判 旧九重理事に非はない!! 正常化を

### 近々中央会や県に行つて話を



佐藤 博美

**佐藤** 玖珠九重農協が、合併時に約3億円の貸倒引当金の不足があったとして、旧九重農協の役員に損害賠償を求めた裁判で先日判決が出た。

「旧九重農協は、合併時に有していた財産すべてそのまま原告組合に引き継いだ以上、仮に貸倒引当金の不足があったとしても、それは会計処理上の問題にすぎず、それによって原告組合に現実の損害が生じるものではない。よって原告の本件請求は理由がない。」

7年間の裁判を経て、ようやく判決が出たが、農協側は控訴すると言う。この農協合併には、行政の責任もある。行政指導で農協の正常化を…

**町長** この合併問題の責任は親組織の中央会にもある。円満に解決する様、近々中央会や県に行つて話をしてみたいと思う。

### 交通安全協会、 今後の組織維持は

推移をみながら  
対応を

**佐藤** 平成23年度から、交通安全協会が県下一本化になると聞くが、町内の分会の維持に支障はないのか。また、協会の収入源である安全協会の加入率が低くなっているが、行政が加入率を上げる呼びかけをするべきではないか。

**町長** 交通安全協会の今後、推移を見ながら町の対応を考えて行きたい。又、協会への加入率を上げるように、安全協会のパンフレットの配布や、役場の課長会等で職員にも徹底していきたい。



## 梨の晩霜冷被害の救済対策は

### 協議して十分検討していきたい



藤原 三治

**藤原** 開花時期の晩霜冷被害は、過去に例を見ない程深刻であり、単価の低迷と資材の値上がりで、生産者は大きな打撃を受けている。共済金の満額、早期支払いの支援と防霜ファンの取り付けや農薬、肥料代等の支援を全生産者にすべきでは。

**町長** 被害に関する陳情も出ており、最終的な評価を待ち、何が農家のためになるか検討し、玖珠町や共済組合と協議し取り組みたい。防霜ファンの設置は、県の補助の関係もあり部会に入つて頂き、被害を受けやすい所から設置していきたい。

### シルバー人材 センター設立を!

立ち上げれば  
支援は惜しまない

**藤原** 60歳以上の方が働くシルバー人材センターは、県内で玖珠と九重、姫島だけが未設置である。将来を考え、玖珠町と共同で立ち上げてはどうか。法人になれば、国からの支援もあり、町民も大きなメリットが期待できる。町の考えはどうか。

**町長** 高齢化は進行を続け、65歳以上の方が約35%、4年後には38%と想定される。福祉、介護、保険事業を見直しながら進めている。



晩霜害での被害木の手入れをする生産者

人材センターは、玖珠町と共同、空いた中学校の利用も考えられる。課題はあるが、立ち上げれば当然支援しなければと考えられている。

# 口蹄疫に二重三重の対策を

## 万全の対策を進めたい



梅木 征治



大分県内では口蹄疫は発生させないぞ

**梅木** 宮崎県で4月23日に口蹄疫の感染の疑いが確認された。水牛については、県の家畜保健所が3月末に農場への立ち入り検査で、典型的な症状がなかったために、感染を見逃したことが、拡散を招いた。当該県及び国の危機管理意識に基づいた初期対策のあり方が起因とするものであることは明白であり、町としての対応と取り組みは。

**町長** 九重町口蹄疫防疫対策本部を立ち上げ、関係機関と連絡を密にし、万全の対策を進めていく。

**梅木** 観光対策、野菜農家対策は、多くの観光客に対して、また標高差を利用した花の農家が、宮崎県の口蹄疫の発生地から来ているが、これらの対策は。

**町長** 観光地には、消毒マット等の対策を実施している。花の農家には、県を通して防疫対策を施している。また、支援については、市場延期に伴う支援、肉用子牛価格支援緊急対策事業の前倒し等で対応する。

### 農作物の 晩霜冷害対策は



過去に例を見ない着果障害が出た梨園

**梅木** 例年になく低温で深刻な被害が出ているが、支援対策は。

**町長** 防霜ファンや生産資材の支援を検討する。

## 国に対して

# 『意見書』提出

★義務教育費国庫負担制度の堅持および教育予算の拡充を求める意見書を国に対して提出。

★肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業及び肉用牛肥育経営安定特別対策事業の見直しと、口蹄疫に対する防疫、経営支援事業の独自対策に係わる支援経費の特別交付税措置での対応に関する意見書を国に提出。

★保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書を国に対して提出。



## 「笑顔新聞」を きっかけに

野上 中央五

岩佐 順子



昨年の12月より、親子の会話のきっかけになればとの思いから、保護者2人で子ども達の良い所を誉める場として、「笑顔新聞」を作り始めました。子どもと大人が、笑顔で繋がりをあえる、そんな願いのこもった新聞になればと考えました。

初めは、読んでもらえるか心配でしたが、発行を重ねる中で、「親子の会話が増えたよ」とか、「子ども達も楽しみにしているみたい」、などの声が聞ける様になり、嬉しい気持ちになりました。

また、子どもの悩みなどを、親同士で話さる様になり、みんなに励まされて新聞を作り続ける事ができました。

何かを始める事はすごく大変な事ですが、小さな行動から、子ども達の笑顔が生まれるきっかけになれる、そんな思いを大切にしたいと考えています。

九重町の、未来を担う子ども達に、元気で明るくやる気のある子ども

そんな、子どもになっても、もらいたいと願いを込めて、これからも新聞発行を続けていきたいと思っています。



健やかな子どもの成長を願って発行を続けたい

# わたしのひとこと

飯田 北方下

首藤 朝子



## 大切にしたい「地域婦人会」



町内には沢山の温泉が住民の憩いの場として

飯田婦人会の活動行事を毎年楽しみに待っていて下さる、一人暮らしの高齢者の方へ贈る「しめ縄作り」、「時松又夫先生」の指導のもとで、老人会、地域の皆様の手助けを借り、発足から40年以上続いているとの事。婦人会員と地域の方と一緒に「窓の口の風呂」、「白鳥神社」の清掃や地域、町の行事へ参加する中で、婦人会の「活動力」の必要性が、地域婦人会にとって大きな財産になります。

飯田地域は、「農業」「観光」「大吊橋」、自然豊かで、素晴らしい地域資源が沢山あります。

九重町、とり分け飯田全体は、少子・高齢化社会の中で、安心して住める地域作りを目指し、会員、地域の方と共に、飯田地区のまちづくりや、日本一の田舎作りなどの取組みを、今後、地域と共に考えていければと思っています。

これからも、婦人会を基本に地域婦人会を大切にしていきたいと考えています。会員減少ですが、今後地域を愛する方々と共に、若き活気な飯田婦人会員が創っていければと期待しています。

# 思い出のアルバム No.2

# 傍聴へ どうぞ

次回は9月上旬予定

## 大分県中部地震

昭和50年(1975年)4月21日2時37分震源地、庄内町付近、直下型、マグニチュード6.4、震度4、約2分間の上下動から水平動に移り町内では野上地区を中心に九州横断道路や住宅に大きな被害が出た。九重町、庄内、湯布院、直入、4町で192棟が全半壊、重軽傷22人、被害額は113億円に上った。

鳥居も壊れた  
飯田北方  
白鳥神社



37分

2時

飯田  
干町無田  
石灯笼や鳥居が  
壊れた朝日神社

このこのえ  
議会だより  
NO.90号



発行/九重町議会  
編集/議会広報特別委員会  
平成22年7月17日  
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1  
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809  
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

お手持ちのなつかしい写真をお貸し下さい

## 編集後記

直下型、県中部地震から35年。農林業に大きな爪痕を残した台風19号から19年、忘れた頃にやって来る災害は、いつも農林業に大きな被害を与えて来ました。

今春、我町を襲った晩霜害は梨農家を中心に農作物に大きな被害を与え、隣県宮崎に発生した口蹄疫は畜産業者に多大な被害と不安を与えている。議会としても町民の立場に立って、町の主要産業である農林畜産業を、安心・安全・安定させ、後継者が育つ、やりがいのある事業に……!

そのためには残された半年あまりの任期を13人の議員、力を合わせて、日本一の田舎づくりに向けて頑張りたいと思います。町民同士、力を結集して、明るい町づくりに取り組みでいきましょう。

藤原 三治

- ・広報委員長 竹尾 允文
- ・副委員長 藤原 三治
- ・委員 小川 克己
- ・委員 江藤 一幸
- ・委員 佐藤 博美
- ・委員 日野 康志